

令和4年度

元気いっぱい 花いっぱい  
笑顔あふれる みんなの宮前小学校

所沢市立宮前小学校



# けやき

自立する子

《学校教育目標》

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

第9号 令和4年12月1日

## 学校公開・校内音楽会 ご来校ありがとうございました。

校長 五十嵐 和彦

いよいよ12月、今年も残すところあと1ヶ月となりました。先月11月は、学校公開、校内音楽会にご来校いただき、ありがとうございました。児童の活動の様子やがんばりをご覧いただけたことと思います。特に校内音楽会については、運動会終了直後から音楽の時間だけでなく、休み時間にも熱心に練習に取り組む姿がありました。そして迎えた当日、子供たちの歌声や演奏は大きな感動を生み出しました。一人一人のがんばりや努力が結び付き、みんなで協力し心をつにじたときの感動は、とても大きくなって体育館全体を包み込みました。素晴らしい感動をありがとうございました。

学期末となります。学習のまとめをしっかり行うとともに、来年に向けての準備を進めていきたいと思ひます。

来年も引き続き本校の教育活動へのご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。よいお年を。



全体合唱「変わらないもの」



低学年合唱



中学年合奏



高学年合唱



ゆめ学級太鼓

## 12月のお話朝会から

### 情けは人のためならず…

「情けは人のためならず…」とよく言われます。「情けをかけることは、その人のためになりません」という意味思われがちですが、実は違います。本当の意味は「人に情けをかけておけば、それが巡り巡って自分により報いが来る。人に親切にしておけば、必ず自分によりこととなって戻ってくる。」ということです。実はこの「情けは人の為ならず…」は、旧五千円札の肖像画にもなった新渡戸稲造が作った詩の一節なのだそうす。

ほどこ なさけ ため  
施せし情けは人の為ならず  
おのが心の ぬぐさ  
慰めと知れ  
わ めぐみ わす  
我れ人にかけてし 恵は忘れても  
おん  
人の恩おは長く忘るな



意味としては「情けは他人のためでなく、自分自身のためにかかるものだ。だから自分が他人にした良いことは忘れてもいい。でも、人から良くしてもらったことは絶対に忘れてはいけない。」ということだそうです。人のために働くことは、いつか自分に返ってきます。誰かのために働くことをいとわない宮前小学校の児童には、きっと何倍にもなってよいことが返ってくると思います。

## 11月の活動から



11/8 ニコニコ班遊び



11/10 花壇に花苗植え



夕焼けの富士山(4Fより撮影)



11/21 コミュニケーションワークショップ(3年)



11/22 パネルシアター

## 5年生が市内親善音楽会に参加しました!

11月11日(金)、3年ぶりに開催された市内親善音楽会に5年生が参加しました。この日は、所沢市内32校の小学校が市民文化センターミュージズの大ホールに集まり、合唱や合奏を発表しました。感染防止への対応から6部構成で実施され、宮前小学校の



▲ミュージズ大ホールで合唱する5年生

5年生は「いのちの歌」を合唱しました。みんな心を一つにして、素晴らしい歌声を響かせてくれました。とても素晴らしい経験となったことと思います。一日も早く新型コロナウイルス感染が収束し、合唱や合奏ができる日が来るのを願っています。



本番前に航空公園で最後の練習に臨む5年生



12月の生活目標 寒さに合わせた過ごし方を考えよう